

2010年農林業センサスにおける課題

■ 調査環境の変化への対応

個人情報保護の意識の高まりと調査員、調査客体等の負担軽減への対応等

■ 新たな施策ニーズへの対応

基本計画に基づく施策の推進に必要なデータを的確に把握等

■ 調査の実施体制を巡る状況

国家公務員の総人件費改革に伴う農林水産統計分野の定員削減への対応（職員調査の廃止）等

対 応 方 向

○ 調査手法の効率化

- ・ 調査員が実施する作業（調査客体候補の把握から調査実施）を見直し、効率的かつ的確な調査手法による調査を実施

○ 調査項目の見直し・減量化

- ・ 調査結果の施策等への利用状況を踏まえつつ、調査客体等の負担軽減等を考慮した調査項目を設定

○ 新たな施策ニーズの反映

- ・ 農業集落単位のコミュニティー活動に関する項目など、新たな施策ニーズを把握し、反映

○ データの連続性の確保

- ・ 2005年農林業センサスで新しく導入した「経営体」に着目した調査を踏襲
- ・ 過去の農林業センサスとの連続性の確保に配慮

○ 調査方法の変更

- ・ 地方統計職員が実施していた農山村地域調査を調査員調査等（自計申告）へ移行

○ 調査精度の維持

- ・ 調査客体が自ら記入しやすく、正確な回答が得られるよう、設問設定や調査項目レイアウトなどの見直し